

今後の一般財団法人全日本ろうあ連盟が主催する〈主管は主に大会が開催される地元のろう協会＝主催の連盟の傘下団体〉「全国ろうあ者体育大会」への【参加原則】について

- JDBA は北海道で開催した「第 21 回バスケットボール競技実施要項」（一部抜粋）、以下の内容に準ずる。

○競技規定

- ・大会開催年度の（公益財団）日本バスケットボール協会競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

○出場資格

- (1) 出場方法の優先順位は次の通りとする

- ① 加盟団体単独でチームを編成。
- ② 当該ブロック内にて連合チームを編成若しくは複数の加盟団体でチームを混成。
- ③ ブロックの異なる複数の加盟団体でチームを混成。

但し、②及び③のチーム混成について、登録する加盟団体は在籍する選手及びスタッフの比率が多いこと。（それぞれの加盟団体の体育部長の承認を得ること）

- (2) コーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は選手名簿にも登録されていなければ、選手として試合に出場できない。

○チームの編成

- ・1チームの編成は、選手 15 名以内、スタッフ 6 名以内（部長 1 名・監督 1 名・コーチ 1 名、アシスタントコーチ 2 名、マネージャー 1 名）を含めて 21 名以内とする。

○競技方法

- (1) 競技は、3 チーム以上の参加により実施する。対戦方法はトーナメント方式とするが、出場チーム数によってはリーグ戦とする。
- (2) 本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて 16 チーム以内とする。
- (3) 試合時間及び延長戦は、(公益財団)日本バスケットボール協会競技規則に準じる。

～以下の詳細は連盟 HP へ～

- 上の「出場資格」にあるように、全国ろうあ者体育大会に参加するデフバスケットボールプレイヤー（=JDBA の会員）は、一般財団法人全日本ろうあ連盟の年度会費の納入を推奨（=地元のろう協会の年度会費を納入を推奨）とし、デフリンピック大会のバスケットボール競技に参加できるように条件を整えるものとする。
- 上の「出場資格」の②の条件を満たすように、出場選手・チーム各自が、加盟団体の体育部長の承認を得るように（主に自身が在住するろう協会事務所に問い合わせ）交渉、調整すること。 ※不明時は、JDBA の事務局に問い合わせのこと。

ろう・聴覚障害者のデフスポーツの環境が聴者や他障害者と比べ、社会的に認知されておらず、理解・啓蒙が不十分である。連盟の会費を納入し、大会参加等によって、ろう・聴覚障害の理解を啓発することが、JDBA の会員各自の役割であり、社会的な使命と考える。

<文責・2022 年度 JDBA 理事会>